



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 405

April 2025

特定非営利活動法人 神戸日独協会

〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20

神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F

TEL/FAX 078-230-8150

E-mail: info@jdg-kobe.org

URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

2025年度通常総会開催のお知らせ

NPO法人神戸日独協会は、2025年度通常総会を下記の要領にて開催いたします。
総会後には会員懇親会を開催し、会員の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思えます。
総会と会員懇親会に、より多くの会員のご出席・ご参加を心よりお待ち申し上げます。

2025年度通常総会

日 時： 2025年5月17日(土) 16:00～17:00

会 場： 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホール(2階)

神戸市中央区八幡通2-1-20

道路の上をポートライナーの走っている大通りを南方へ向かい、左側

議 題： 追って「総会資料」にてお知らせします。

※ 会員の皆様には「総会開催案内」と「総会資料」を5月中旬にお送りいたします。

ご出・欠席のお返事は5月15日(木)までにお願いいたします。

申 込： 5月15日(木)までにメール・電話・FAXにて

会員懇親会

日 時： 2025年5月17日(土) 17:15～19:00 (総会終了後)

会 場： 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホール(2階)

会 費： 5000円 (飲物は各自払い)

会費は当日会場にてお支払いください。

申 込： 5月15日(木)までにメール・電話・FAXにて

「ドイツ、これが私のお奨め」

もう10年以上前のこと。当時の事務局長にお会いするなり「オーバーアマガウ Oberammergau でキリストの受難劇を見てきました！」と意気揚々と語ってくれました。バイエルン州アルプス麓の小さな町オーバーアマガウで中世から続き10年に一度町を挙げて開催される受難劇のことは、同町をしばしば訪れていたもので知っていましたが、身近な方がわざわざこの目的のためにドイツを訪れ、念願の希望がかなった感動が伝わってきました。

協会の授業で、催しで、事務所で会員の方々からドイツでの体験、コンサートや読書でのドイツに関する感動を伺うのは大きな楽しみでした。

自分の知っている場所や事柄であっても、様々な体験や見方があることに気付かされ、機会があれば自ら体験してみようと胸が躍るのを感じました。

かつては「地球の歩き方」のようなガイドブックを、現在ではスマホを片手に観光をすれば、一応の観光目的は果たされるでしょう。しかし「体験談」に勝るものはないでしょう。

最近では会員同志が集う機会も少なくなり、会員同士の情報交換の場も減りました。そこで先ずは会報を通じて情報交換をしませんか。最近の情報のみならず、胸に大事に大事にされている「ドイツに対する思い」をぜひご披露ください。写真等は印刷の関係で掲載が難しいかもしれませんが、ホームページ版では紹介可能です。

ご投稿は下記の「会員の広場」に準じてお願いします。

多くの方からのご投稿をお待ちしています。

(会長 枘田義一)

会 員 の 広 場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。今月は休載です。

投稿規定 : 1000字程度(字数を厳守)

MSPゴシック12ポイントのWordデータを第4月曜日までにメールでお送りください。

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

5月は4月に引き続き、Schneewaltzer(雪のワルツ)、An die Freude(歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)に加えて、Wenn der weiße Flieder wieder blüht(再び白いライラックが咲いたら)を歌います。

講 師 : 岩島 佳子さん

日 時 : 5月24日(土) 13:30~15:00 (定例日が変更になっています)

6月15日(日) 13:30~15:00 (定例日が変更になっています)

場 所 : 神戸日独協会

参加費 : 2000円

参加条件 : 会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方もぜひご参加ください。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL	078-230-8150(月~金14~17:00)
-----	-----	--	-----	---------------------------

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講 師 : 堀田真美子さん

日 時 : 6月1日(日)14:00~16:00 ※定例日が変更になっています。

場 所 : 神戸日独協会

会 費 : 1000円(材料費)

参加条件 : 会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL	078-230-8150(月~金14~17:00)
-----	-----	--	-----	---------------------------

第245回 ドイツ語談話室

日 時 : 2025年3月15日(土) 14~16:00

場 所 : 神戸日独協会

テーマ : 春の目覚め

今回の司会はドロテア合田さんが担当し、気まぐれな人間と違って、春の季節は毎年決まった時期に必ずやって来る、と話した。人々は重い服を脱いで、軽く晴れやかな気分になる。野辺にはスノードロップやゆきわり草が美しい花を咲かせて楽しませてくれる。ドイツ国内では移民の問題や政治の混乱の問題が人々を悩ませるが、自然はいつも変わることなく我々に春の目覚めをもたらしてくれる、と話した。

次に参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

— 庭の花々が次々と咲きだし、花壇の手入れが大変になってきた。近くにある岡本の梅林では毎年多くの観覧客で賑わっている。

- 周りの花々が一斉に咲きだし、梅の花も満開で桜も咲こうとしている。チラシ寿司づくりも忙しい。毎年さくらの名所を訪ねるのが楽しみである。三春の枝垂れ桜、岐阜の薄墨桜、吉野山、高遠、角館、等々。
- 梅の花がとても香しく、気持ちがいい。水仙の花々も美しく凛としていて、楽しませてくれる。この時期、一面霧雨に蔽われるととても風情があって良いものだ。
- 早春には三寒四温で、一気に暖かくはならない。河津桜にはまだ少し早く、京都の枝垂れ桜もまだ一息。ソメイヨシノは3月終わりから4月初めとなりそうだ。
- 暖かくなって来て杉やヒノキの花粉が飛び始め、多くの人々が花粉症に悩まされ始めている。また一方では、啓蟄の時期となり、地中の虫たちが外に出てくる頃である。
- 地球温暖化防止が大きなテーマだが、温暖化のリスクの一つに、永久凍土の温暖化がある。永久凍土が解けて、その中に含まれている未知のウイルス、人類がまだ免疫を持っていないウイルス、が出てくるリスクだ。
- 早春の頃は花々が咲き始め気持ちが晴れやかになる。三宮近辺でよく目立つ花木に、もくれん、こぶし、ミモザ、などがある。春はまず、華やかな花々を目が楽しみ、甘い香りを鼻が楽しみ、新鮮な野草を口が楽しむ。全身で春を満喫している。

今後のドイツ語談話室の予定

第247回 2025年5月17日(土)14～16:00 テーマ : ポイント制

Protokoll der 245. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 15. März 2025, 14 bis 16 Uhr

Thema: Was im Frühling neu erwacht

Dieses Mal hatte Frau Dorothea Goda die Gesprächsleitung und erzählte, dass im Gegensatz zum wankelmütigen Menschen der Frühling jedes Jahr zur gleichen Zeit wiederkehrt. Die Menschen legen ihre schwere Kleidung ab, fühlen sich leichter und erfrischt. Auf den Feldern blühen Schneeglöckchen und Leberblümchen, und wir können uns daran erfreuen.

In Deutschland bereiten den Menschen Themen wie Einwanderung und andere politische Instabilitäten Sorgen. Die Natur bleibt hingegen konstant und beschert uns im Frühling stets ein neues Erwachen.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

-Die Blumen im Garten einer Teilnehmerin blühen eine nach der anderen, aber die Pflege der Blumenbeete macht ihr immer mehr Arbeit. Im nahegelegenen Okamoto gibt es einen Garten mit japanischen Pflaumenbäumen. Jedes Jahr herrscht ein großer Andrang von Besuchern.

-Die Blumen im Garten einer anderen Teilnehmerin haben alle gleichzeitig angefangen zu blühen. Die Pflaumenblüten stehen in voller Blüte, die Kirschblüten stehen kurz

davor. Die Zubereitung von *Chirashisushi*, die traditionell in dieser Zeit am Speiseplan stehen, ist arbeitsintensiv. Jedes Jahr besucht diese Teilnehmerin Orte, die für deren Kirschblüte berühmt sind. Zum Beispiel die Trauerkirschblüten in Miharu, *Usuzumi*-Kirschblüten in Gifu, Yoshinoyama, Takato, Kakunodate, usw. Darauf freut sie sich sehr.

-Pflaumenblüten haben einen wunderbaren Duft. Auch die Blüten der Narzisse sind sehr schön. Ihr würdevolles Aussehen ist eine Augenweide. Zu dieser Jahreszeit wird die Landschaft sehr malerisch, wenn sie in Nieselregen gehüllt ist.

-Am Frühlingsbeginn folgen auf drei kalte Tage vier warme Tage usw., es wird nicht auf einen Schlag warm. Für die Kirschblüten in Kawazu ist es noch etwas früh und die Trauerkirschen in Kyoto dürften noch blühen. Die *Someiyoshino*-Kirschbäume blühen voraussichtlich von Ende März bis Anfang April.

-Wenn das Wetter wärmer wird, fliegen die Zedern- und Zypressenpollen. Viele Menschen leiden unter Heuschnupfen. Eine Zeit des Erwachens ist es auch für viele Insekten, die aus ihrem Unterschlupf in der Erde hervorkommen.

-Die Verhinderung der globalen Erwärmung ist ein wichtiges Thema. Gletscher und Permafrost stehen in der Gefahr zu schmelzen. Sie könnten auch gefrorene Viren freisetzen, gegen die wir keine Immunität haben.

-Mit dem Aufblühen der Blumen und Bäume verbessert sich die Stimmung. Hier in der Gegend von Sannomiya sind Magnolien und Mimosen am auffälligsten. Aber es ist nicht nur die Schönheit und der Duft der Pflanzen, viele der im Frühling erwachenden wilden Pflanzen dienen uns auch als Nahrung, wir genießen den Frühling mit dem ganzen Körper.

Nächstes Treffen:

Samstag, 17. Mai 2025, 14 bis 16 Uhr. Thema: Punktesysteme

5 月 の 企 画 委 員 会

この会は協会と会員の交流の会です。協会の事業について種々の企画をご提案いただければ、協会の活動は活発化します。ぜひとも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。ご出席いただける方はなるべく事前にご連絡ください。当日参加も可。

日 時 : 2025年5月10日(土)15:00~17:00

場 所 : 神戸日独協会

話 題 : 2025年度の事業企画

ゴールデンウィーク中の協会の閉室

4月28日(月)から5月7日(水)まで閉室します。

Das Büro der JDG Kobe ist von 28. April bis zum 7. Mai geschlossen.

※閉室期間中、催し等のお申込み・お問合せはメール・FAXでお願いいたします。

会報印刷・発送ボランティア

次回の印刷と発送は5月23日(金)の予定です。お手伝いいただける方は事前にご連絡ください。

印刷 : キンコーズ三宮店(神戸市中央区雲井通4-2-2マークラー神戸ビル)10:30~

発送 : 神戸日独協会にて、12:00~

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSでは覧いただけます。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X Twitter
---	---	---

イベントスケジュール

日 時	催 し	会 場	申込〆切
5月10日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会	当日参加可
5月17日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可
5月17日(土) 16:00~17:00	通常総会	神戸レガッタ倶楽部	5月15日(木)
5月17日(土) 17:15~19:00	会員懇親会	神戸レガッタ倶楽部	5月15日(木)
5月24日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会	当日参加可
6月1日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)	神戸日独協会	当日参加可
6月15日(日) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会	当日参加可